

錬磨・創造

竜北中 学校通信 第3号



コロナ第5類へ 通常の生活へ

5月8日に新型コロナウイルス感染症の分類が変更され、インフルエンザとほぼ同じ扱いになりました。学校生活も、ほぼ通常の生活に戻っています。しかし、今も半数以上の生徒がマスクを着用しており、マスクをつけることが、日常になっている現状があります。5月の中旬には、30℃を超えるような気温の日がありました。熱中症の予防のためにマスク着用も次第に少なくなってくるのかと予想をしていますが、体調管理には十分配慮していきます。ご家庭でも十分にお子さんの体調にご配慮ください。

3年生の修学旅行も無事に終わりました。まもなく3学年の宿泊学習も終わり、6月からは、落ち着いて学習に取り組めるように、教員、生徒ともに気持ちを切り替えて蒸し暑い梅雨時を乗り越えていきたいです。

3年修学旅行 5月22日～24日山梨・東京方面



学校評議員会（5月18日）より

- ・思う存分行事をやってほしい。親・地域・教育関係者は学力向上を第一にと言うが、一番大事なことは、学校が安心・安全な場所であるということだと思う。コロナ明けで、学校の果たす役割は、何なのかをもう一度考えるべき。コミュニティースクールは、今ある団体を利用して運営することが大事。
 - ・魅力ある学校事業の計画で、ビジネスに触れるものがあるが、会社の展示会に参加するのがよいかと思う。社会に触れる手っ取り早いやり方だと思う。教員が体験するのもよいと思う。
 - ・中学生にとって夢が大事、どう人生を歩みたいか、どういう未来を歩むかを考えるのが大事。
 - ・(子どもの指導について) 地域を巻き込んでいこうという考え方が大事。生徒一人一人の情報はつかみきれない。なるべく情報が共有できるとよいと思う。
 - ・昔と違って、学校を休むことがいけないことではないという認識が広がっている。このことはありがたいことだと思う。
 - ・いじめは無理だと思う。親だけでみるのは、無理だと思う。近所のおじさん、おばさん、おじいちゃん、おばあちゃんなど、地域にいる人を活用できたらと思っている。
 - ・困っている子どもについて、住んでいる地域で何かやったり、声掛けができたりするとよいと思う。
- 以前は、学校へ行くことが普通であった。学校に行けないことで自分がだめだと思うような気持ちにはならないようにしてほしい。今は、学校内に教室に行けなくても、心の教室のようにいられる場所があつてよかった。悩んでいる本人が一番困っている。休んだっていいんだという気持ちでいてほしい。
- いじめのことやSNSのトラブルのことで、教員の本来の業務の支障が出ている。教員の仕事の範囲を超えていると思う。

☆給食時の食べ方について

現在、生徒は教室で前を向いた状態で給食を食べています。黙食ではありませんが、必要以上の会話は、控えるように声をかけています。6月1日で3学年すべての宿泊行事が終わりますので、それ以降は、グループごとでの会食を始めていきますのでご了承ください。なお、新型コロナ等、感染症の生徒が増えてきた場合には、実態に応じて、対応を変えていく場合もあります。その場合には連絡をします。

☆教育相談について 保護者からの相談事案が増えて来ています。相談される先生に連絡をとっていただき、平日の早い時間帯に相談が終わるようにしていただけるようにご協力をお願いします。